

【世界の再生可能エネルギーと電力システム】

トランプ政権後の 脱炭素と再生可能エネルギーの国際動向

— 講師 — 英・ストラスクライド大学 アカデミックビジター
九州大学 洋上風力研究教育センター 客員教授 安田 陽 氏
環境エネルギー政策研究所(ISEP) 主任研究員

日 時 2025 年 5 月 27 日 (火) 午後 3 時～6 時
受講方法 ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)

〔重点講義内容〕

2025 年 1 月にアメリカ合衆国の第 47 代大統領としてドナルド・トランプ氏が就任して以来、パリ協定からの脱退など、同国の脱炭素や再生可能エネルギーの政策に大きな変更がなされている。また、ドイツでも 2025 年 2 月の総選挙により緑の党を含む旧政権が敗北して政権交代が起こり、脱炭素・再生可能エネルギー政策が後退するのではないかと観測も流れている。このような脱炭素・再生可能エネルギーの政策は、特に日本において「後退」「脱炭素疲れ」などネガティブな印象論で流布されることが多い。

一方、国連や国際エネルギー機関 (IEA) や国際再生可能エネルギー機関 (IRENA) を中心にここ数年急速に議論や合意形成が進展しており、例えば 2024 年 10 月に発表された IEA の「世界エネルギー展望」報告書では、2050 年の電源構成に占める再生可能エネルギーの比率は約 9 割になると試算されている。英国やオーストラリアでも政権交代によって脱炭素・再生可能エネルギーの目標が引き上げられているが、こうしたポジティブな情報は日本にはなかなか入ってこず、内外の情報ギャップや情報の非対称性がますます拡大していると言える。

一方、2025 年 2 月に閣議決定された第 7 次エネルギー基本計画では 2040 年の数手における再生可能エネルギー比率が 4～5 割に据え置かれるなど、国際議論の水準からは大きく劣後するものであり、国際議論との乖離が浮き彫りになっている。

本講演では、まず国際動向を紹介し、何故、国際議論と日本の国内議論との間でこれほどの乖離があるのかを認識し、本来どうあるべきかについて、科学的方法論の観点から解説する。

1. 脱炭素の国際動向と日本の立ち位置

- (1) 国際機関における脱炭素・再生可能エネルギーの議論
- (2) 世界の主要国における脱炭素・再生可能エネルギーの議論
- (3) 日本における脱炭素・再生可能エネルギーの議論
- (4) 国際議論と国内議論の乖離

2. 再生可能エネルギー超大量導入の国際議論

- (1) 柔軟性
- (2) 電化とセクターカップリング
- (3) 外部不経済と便益

3. 日本の課題と解決策

- (1) フェイクニュースと科学的方法論
- (2) 非科学ナラティブと EBMP (根拠に基づく政策決定)

4. 質疑応答

※参考文献

安田陽著「2050 年再エネ 9 割の未来 -脱炭素達成のシナリオと科学的根拠」山と溪谷社((2024 年 12 月)

PROFILE 安田 隼 (めすだ 隼) 氏

●受講料	各受講方法 1名につき 33,880円(税込) 同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 27,500円(税込) ※ライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金 11,000円(税込) で承ります。
●お申込方法	二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。 折り返し受講証、請求書をメール(PDF)にてお送りいたします。 お申込み後、3 営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報ください。 ※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「 開催1週間前まで 」にお申し出ください。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法	請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談ください)

5月27日(火)		「脱炭素と再生可能エネルギーの国際動向」		申込日		月	日
貴社名							
所在地	〒 ○印をお付けください（ご自宅・お勤め先）						
いずれかの□に必ず✔をお入れ下さい。（アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。）							
☐ ライブ配信				☐ アーカイブ配信			
フリガナ 氏名				所属部署・役職			
TEL	() -			FAX		() -	
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。						
いずれかの□に必ず✔をお入れ下さい。（アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。）							
☐ ライブ配信				☐ アーカイブ配信			
フリガナ 氏名				所属部署・役職			
TEL	() -			FAX		() -	
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。						

通信欄	
-----	--

